



小田小だより

平成27年10月号

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号 TEL 045(775)3011

<http://www-local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/koda/>

横浜市立小田小学校



「五つの誓い」

～創立25周年の運動会に思いを寄せて～

学校長 木村 昭雄

秋本番となり、過ごしやすい季節となりました。「秋」という言葉を聞き、皆様はどのような「秋」を思い起こすでしょうか。「芸術の秋」「文化の秋」「スポーツの秋」など、人それぞれかと思えます。そんな秋真っ直中の10月3日(土)に創立25周年の運動会が開催されます。たわわりの仲間と気持ちを一つにして頑張る子どもたちの成長していく姿を見ることができ素晴らしい学校行事です。

この行事を前に、「五つの誓い」を紹介したいと思います。

「口」は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう！
「耳」は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう！
「目」は、人のよいところを見るために使おう！
「手足」は、人を助けるために使おう！
「心」は、人の痛みがわかるために使おう！

この「五つの誓い」は、神奈川県の中学校で体育教師をしていた腰塚勇人先生が作ったものです。腰塚先生は、今から13年前の37歳のときにスキーの事故で首の骨を折ってしまいました。奇跡的に命は助かりましたが、手足が完全に麻痺してしまい、行く末に絶望した彼は、自らの命を絶つことも考えたといひます。しかし、家族、友人、看護師さんの力強い励ましに支えられながら、生きる希望を失うことなく辛いリハビリに耐え続けます。そして、ついに歩くことができるようになり、それこそ奇跡の復活を果たしたのでした。この「誓い」は、彼が復活するまでの苦しみの中で自身に打ち立てた「誓い」です。このことは当時の神奈川新聞でも紹介されましたが、その後、腰塚先生が著した『命の授業』(ダイヤモンド社)を読み、改めて衝撃を受けたしだいです。私は、子どもたちの日常生活にも「五つの誓い」を活かしてほしいと願っています。早速、そんな願いを込めて運動会前の朝会で、子どもたちにこんなふうに呼びかけました。

「口」は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう！
・ 全力で頑張る仲間を応援し、健闘を称え合いましょ！人の心は、言葉によってつながっていくのですから。
「耳」は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう！
・ チームをまとめるため、意見を出し合い、話し合う機会がたくさん出てくると思います。「聴く」という字のごとく、最後まで目と心も使って、その人の思いまで聴き取ってあげましょ！
「目」は、人のよいところを見るために使おう！
・ 誰にも、長所も短所もあります。長所を見ましょ！頑張る姿を見つめましょ！
「手足」は、人を助けるために使おう！
・ 自分の力の出せるところがきつとあるはず。チームのため、仲間のために使おう！
「心」は、人の痛みがわかるために使おう！
・ 精一杯努力しても、結果が出せずに報われないことだってあります。そんな仲間の心に寄り添う優しさをもちましょ！

保護者の皆様、地域の皆様、この「五つの誓い」を大切にしたい10月3日(土)の運動会を想像してみてください。一人ひとりが自らのよさを発揮しながら汗だくになってチームのため一丸となって頑張る、笑顔に満ち溢れている大会が見えてきませんか。どうか子どもたちの頑張りに温かいご声援をよろしくお願ひいたします。また、近隣の皆様には早朝からいろいろな面でご迷惑をお掛けすることと存じますが、何卒、ご理解とご協力のほどよろしくお願ひ申しあげます。